



平成二十四年一月十三日

皇紀2672年
(西暦2012年)
第23号

発行：淀姫神社社務所
〒859-4501
松浦市志佐町浦免632
TEL・FAX 0956-72-0653

新年へおめでとう☆

あけましておめでとうございます

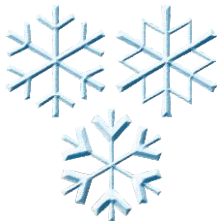
あけましておめでとうございます。と言うには遅いですね。もうお正月気分もすっかり抜けて、皆様にはそれぞれに日々頑張ってもらっている事と思います。

夏に「酷暑」という、とてつもない暑さが続いたかと思えば、最近「極寒」とも言えるような、平年よりも寒い日が毎日毎日続いている今日この頃です。ようやく真冬らしくなりましたなどと言っている場合じゃないほどに寒いです。連日ニュースであちこちの雪

の様子も報じられています。まだ幸いなことにこの地方は暖かいうち。でも、油断は禁物です。皆様には風邪など召されませんようご自愛ください。

王嶋神社「的打ち神事」が齋行

去る一月八日、珍しく穏やかな一日が訪れたこの日、庄野免の王嶋神社で、古くから伝わる



伝統神事「百手（ももて）講神事」が齋行されました。この「百手講神事」は、松浦市の無形民俗文化財にも指定されている神事で、地区から選ばれた二人の射手の方が、一〇メートル先に設えられた直径五〇センチの的に向かって、矢を放ち、その当たった本数でその年の吉凶を占ったり、また矢を射ることによって邪気を祓い、地区の安寧と五穀豊穡を祈る神事でもあります。

今年の射手は、濱（はま）四才と、ちようど一月八日が十九才のお誕生日だったという池田聡さんのお二人でした。

お二人の射手は、王嶋神社での神事でお祓いお清めを受けられた後、安全を祈願して玉串拝礼をされました。そして、いよいよ本番の「的打ち神事」です。いたびの木で作った弓と、竹で作った矢五十本をそれぞれ交代的に向かい、射られます。今年は五十本中四本が的的中しまして、そ



和哉さん（四十



の度に参拝に来られた方々からは大きな歓声と拍手が湧いていました。

ちなみに、五十本中四本というのはいさく少ないと思われた方がいらっしやるかも知れませんが、全然そんなことはありません。

神事が無事終了した後、集まられた方々での的打ちをやってみまして、もちろん私もやらせていただきました。私には当たらない。十本ほど射させてもらったうち、五本は的にも届かず、それ以外はほとんどなく明後日の方角へ飛んで行くという情けない結果に終わりました。そんな中で四本当てられるというのは、本当にすごいことなんだなあと言いうのが実感でした。今年はその的打ち体験に女性の方も初参加されて、冬の穏やかな一日が過ぎていきました。



淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「宮司のつぶやき」「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。